

2024(令和6)年度 教職課程に関するFD・SD 合同研修会報告書

2024年度 教職課程に関するFD・SD 合同研修会を、1月24日(金) 第3会議室にて開催いたしました。

研修内容は、「①教職課程の実践・結果・評価」、「②教育・養護実習等の実施状況について」、「③教職課程認定申請の進捗状況」についての報告でした。

今年度の教員免許状取得見込み者は74名(英語24名、保健体育30名、養護教諭20名)となっています。その中の35名が教員採用試験を受験しました。受験率47.3%で、免許取得見込み者数、受験率ともに昨年度を上回っています。現役合格者も9名とこれまでの最多となりました。ちなみに、名桜大学出身者(過年度・現役生を合わせると今年度の沖縄県の教員採用試験受験者数は114名(表1)で、臨時的任用教員を数年間も継続している卒業生が多数いることが考えられます。合格者は11名でした。特に、昨年度は商業に1名合格しており、今年は情報に1名が合格し、卒業生も頑張っていることが伺えます。また、県外の情報は容易に把握することはできませんが、実際は多くの卒業生が教職に就いていることも推定されます。本学で教員免許が取れる科目の中でも情報、商業、保健体育、養護は他教科より、かつ他県より採用試験の志願倍率が高く難関となっています。さらに、小学校教員を受験している学生も多数いることから卒業後に、小学校免許を取得しているものと思われます。今後は、本学で小学校の二種免許が取得できるような仕組みも検討する必要があると感じているところです。このように現役生、卒業生の実績を鑑みると、今後とも、本学の強みとなるよう、教員養成に力をいれて取り組む必要性を強く感じています。

教員養成は教育の質の向上に資するニーズの高い不可欠な人材育成です。全国的に教員不足が課題となっている現状を踏まえると、教職課程の運用については、なおいっそう教員のやりがいや魅力を伝えて、さらに教職希望者を増やしたいと考えているところです。全教職員のご理解とご協力が必要だと考えております。今後とも、当教員養成支援センターでは、皆様からの忌憚のないご意見、ご助言等を賜りたいと存じます。

ご多忙の中、教職に関するFD・SD 合同研修会に対面、またはオンデマンドでご参加くださり、さらに様々な視点から有益なコメントをお寄せくださいましたことに心より感謝申し上げます。教職課程の現状をご理解していただくいい機会になったかと思われま。ご協力いただき、ありがとうございました。

※アンケートよりコメントの内容を一部抜粋してご紹介いたします。

①教職課程の実践・結果・評価等について、質問や要望、感想等

- ・教員免許取得者数について、今年度過去最高を更新したことは、教員不足が進んでいる教育業界からすると、とても素晴らしいことだと思いました。着実な歩み、実績で素晴らしいです。
- ・英語の教員採用試験受験率が低いことに関しても、ご説明があったとおり英語を活用した別の職種への就職率について今後調査いただけますと幸いです。
- ・わかりやすい説明でした。次年度から地歴科教職課程が本格化するため参考になる点が多かったです。
- ・過去からの学生の状況を丁寧に整理し、報告しておられました。小学校免許が取得できる体制づくりを何とかしたいですね。
- ・先生の取り組みのおかげで、成果が出てきていることが分かり良かったです。
- ・小学校教員養成課程の設置に関しては、財源面で厳しいものがありますが、他大学の通信教育との連携等を通じ実現に向けて取り組んで頂きたい。
- ・沖縄県教員選考試験(情報)に最終合格されていることを知りました。過卒の方だと思いますが、健康情報学科の学生にも知らせたいと思います。
- ・教員免許取得者及び採用試験合格者の動向、教員養成講座の受講状況と合格者の関連など知ることができました。教職を目指す学生が多いことは大変うれしいことであり、合格に向けて大学として取り組まれていることも大変ありがたいことだと感じました。それが、魅力ある大学へとつながっているのだと思います。
- ・教職課程についてよく理解できていないこと、教員養成の目標達成に向けた成果・評価を知る機会となりました。

②教育・養護実習等の実施状況等について、質問や要望、感想等	
<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究の時間（帰宅が22時超過）に関しては、教育の質を担保するために念入りな教材作成も重要だとは思いますが、今後実際に教育現場従事者を確保していく観点からも、働き方等について実習校側に改善を提案する必要があるように感じました。 ・今後、実習生が増えた場合の対応を考えておかなばなりません。こちらも、着実な実績で素晴らしい。 ・「教科等の基礎的な知識や概念を正確に理解すること」で列举されている学生の課題は、教職課程対象の学生のみならず、「大学全体」で考えるべき問題だと感じました。 ・学生の適正配置にご苦労されていらっしゃると思いますが、引きつづきよろしく願いいたします。 ・学校支援ボランティア等の実践を通じ、学生が教員のやりがいや充実感が持てるよう協力学校の選定や協力を仰ぎ、教員志望の学生の増加に努めることが必要。 ・教育実習の、教科等の指導に関する課題、指導体制に関するこの課題が参考になりました。 ・小学校・中学校で勤務していたころ、名桜大学の学生を教育実習等で受け入れたことがありましたが、学生の教育実習への姿勢も素晴らしく、みなり服装、言葉遣い等含め大変鍛えられていると感じました。私もその名桜大学の伝統を後輩が受け継げるよう、しっかり取り組んでいきたいと思えます。 ・看護学科でも将来的に養護教諭を目指している学生もいるため、学生の相談などに活かせる内容でした。 	
③教職課程認定申請の進捗状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ・取得できる教員免許の種類が増えることは、教員不足改善に繋がることも含め、学生側からしても教科選択の幅が広がることから、とても素晴らしいことだと思います。 ・何とか申請が通ることを願います。 ・教職担当者の業績づくり（論文等作成）は、日々、研鑽を積み重ねるしかありません。支援センター報(年報)は、重要だと思います。 ・粛々と進めていく必要がありますね。認定申請が通ることを願っております。 ・中学校国語科、社会科など教員免許の幅が広がることはうれしい限りです。小学校教諭免許も在学中にとれるのでしょうか？（小学校教諭の採用数は多いことから、中学校免許取得者が通信教育で小学校教諭免許を取り採用されたケースも多いので） ・進捗状況の報告をありがとうございました。 	

表1 2024年度 名桜大学卒業生及び現役生の沖縄県教員採用試験実施状況

2024年度実施	小学校	中学校	高等学校	特支小	特支中・高	養護教諭	合計		
名桜大学 志願者数	19	38	21	2	5	37	122		
名桜大学 受験者数	17	36	20	2	5	34	114		
名桜大学 1次合格者数	9	2	4	0	1	3	19		
名桜大学 最終合格者数	5	2	情1	0	1	2	11		
年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
名桜大学 志願者数	153	154	139	138	133	121	116	122	1076
名桜大学 受験者数	145	146	134	137	126	117	92	114	1011
名桜大学 1次合格者数	15	12	17	11	15	15	16	19	120
名桜大学 最終合格者数	11	8	9	8	11	12	13	11	83

※沖縄県教育委員会提供資料より

◎ 2024年度沖縄県の教科別採用者数（合格率） 小学校 266（38.3%） 中学校英語 25(22.1%)、商業 2(8.7%)、情報 3(17.6%)、中学校保健体育 11(4.6%)、養護 5(3.1%)、特別体育 2 (5.6%)

2024 年度教職課程に関する F・D・S D 合同研修会の説明資料より一部紹介



図1 年度別教員免許状取得数の推移



図2 年度別教員採用試験受験者数の推移

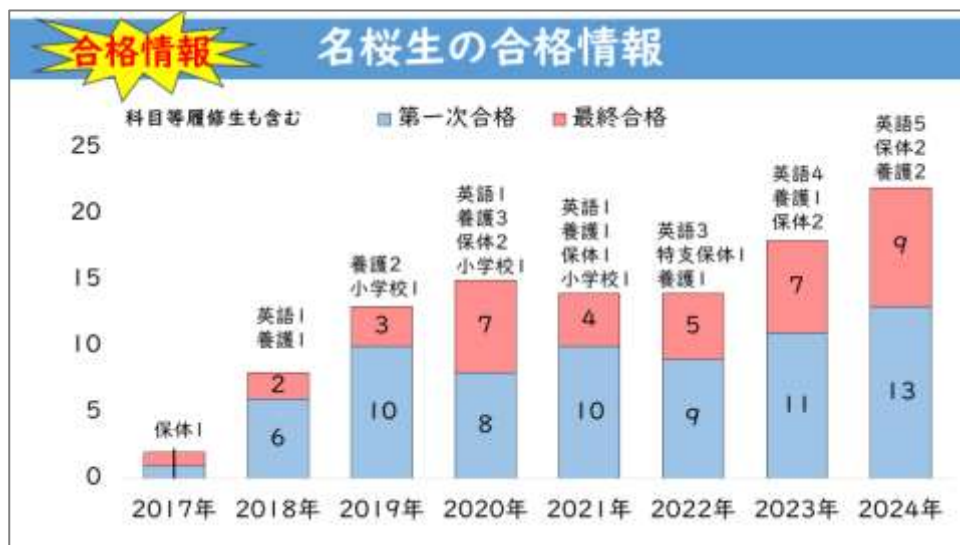


図3 名桜大学生の現役 (科目等履修生も含む) せいの合格すと教科



図4 名桜大学生(過卒者含む)採用試験合格者数 (県外過卒者の情報は一部のみのみ)